

札幌市こどもの劇場やまびこ座 令和4年度管理業務報告書

1 管理業務の実施状況

項 目	実 施 状 況	評 価 ・ 反 省												
1. 管理の基準														
(1)開館時間及び休館日	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 20%;">開館時間</td> <td>午前8時45分から午後10時まで。ただし、日曜日は午前8時45分から午後5時まで</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>休館日</td> <td>(1)月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、当該月曜日後最初に到来する同法に規定する休日以外の日) (2)12月29日から翌年1月3日まで</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>開館日数</td> <td>310日</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>休館日数</td> <td>55日</td> </tr> </table>	1	開館時間	午前8時45分から午後10時まで。ただし、日曜日は午前8時45分から午後5時まで	2	休館日	(1)月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、当該月曜日後最初に到来する同法に規定する休日以外の日) (2)12月29日から翌年1月3日まで	3	開館日数	310日	4	休館日数	55日	/
1	開館時間	午前8時45分から午後10時まで。ただし、日曜日は午前8時45分から午後5時まで												
2	休館日	(1)月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、当該月曜日後最初に到来する同法に規定する休日以外の日) (2)12月29日から翌年1月3日まで												
3	開館日数	310日												
4	休館日数	55日												
(2)施設使用の承認について	・札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、実施した。													
(3)利用の制限に関する事項	・該当事例なし。													
(4)札幌市個人情報保護条例の適用について	・個人情報の取り扱いについては、札幌市個人情報保護条例に基づき適正に処理を行った。また、個人情報の開示の要望はなし。													
(5)札幌市情報公開条例の適用について	・該当事例なし。													
(6)札幌市行政手続条例の適用について	・札幌市行政手続条例に基づき適正に処理を行った。													
(7)札幌市オンブズマン条例の適用について	・該当事例なし。													
(8)札幌市暴力団の排除の推進に関する条例の適用について	・札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、適正に処理を行った(使用承認申請書での確認、協定に関連する契約業者の確認)。 ・該当照会実績なし。													
(9)障がい者差別解消法の適用について	・障がい者差別解消法を踏まえた札幌市の対応方針及び接遇要領に基づき、合理的配慮などの利用者対応を行った。													
2. 総括管理業務														
(1)管理運営業務の基本方針の策定	『未来ある子どもたちの夢をはぐくむ劇場づくり』 札幌市こどもの劇場やまびこ座は、「人形劇、児童劇などの制作及び発表と制作団体の育成を通じて、青少年の情操のかん養を図り、もってその健全な育成その他の活動に資すること」を目的に設置された施設である。 全国的にも珍しい子どものための専門劇場であり、子どもたちが人形劇や演劇などに親しみ、笑顔あふれ、夢を持って育つことを願い、運営を行うことを基本方針として策定した。	<p>・施設設置の理念に基づき、基本方針を策定した。市民にとっての劇場のあり方と、地域における劇場の役割を具体化し実践した。また、当方針を達成するため全職員が意識を1つにして、親しみやすい劇場作りに努めた。</p>												
(2)平等利用の確保に向けた考え方と取組	人形劇や演劇等、子どもたちのために舞台表現活動を行う団体に対しては、幅広く受け入れ優れた作品を安価で上演できることを劇場運営の基本方針とした。劇場職員は、観客である子どもとその家族を温かく迎え入れ、親しみやすい雰囲気を作ると共に、上演する団体の支援者となることに努めた。													
(3)地球温暖化防止対策及び環境配慮の推進	環境行動マニュアルに基づき、環境保全を意識しながら業務を推進した。環境保全に配慮した行動を職員や利用者へ周知し、エネルギー使用量削減の啓発に努めた。													
		<p>・環境行動マニュアルに基づき、各エネルギー(電気、水道、ガス)の節約に努め、施設運営を行った。</p>												

(4)管理運営組織の確立

- ①責任者の配置、組織整備
・統括責任者を1名配置した。
・事務分掌、緊急連絡体制などを定めた。

- ②従事者の確保・配置
・職員の配置体制

館長	1名	統括責任者(やまびこ座・こごま座兼務)
係長	1名	職務代理者
主任職	2名	事業指導担当(1名)※人形劇指導者管理担当(1名)
専門指導員	1名	舞台技術担当
一般職員	1名	事業指導担当※児童劇指導者
臨時職員	1名	事業指導補助
パートスタッフ	3名	事業運営補助(1名) 夜間管理担当者(2名)
計	10名	

- ③人材の育成

(1)派遣研修(劇場運営関係)

国内外の人形劇関係機関及び児童文化関係施設との連携を密にすることで、職員の専門性向上に努めた。

- ・被災地支援活動「福島県への継続文化支援活動」

- ①9月21日(水)～26日(月) 職員3名
②1月13日(金)～15日(日)職員2名
③2月24日(金)～27日(月)職員1名
④3月23日(木)～27日(月)職員3名

- ・砂川人形劇創作体験プログラム

6月2日(木)～3月12日(日) 職員1名

- ・「子どもと舞台芸術の大博覧会inKOFU」シンポジウム参加及び子どものための文化施設の視察

7月30日(土)～8月1日(月) 職員1名

- ・北海道シアターカウンスルプロジェクト

- キックオフ・シンポジウム「文化芸術は誰のもの？」

8月2日(火) 職員2名

- ・地域別劇場・音楽堂等職員舞台技術研修会(北海道地域)

11月9日(水)～10日(木) 職員1名

- ・障害のある人と芸術文化活動に関する大見本市 参加

2月10日(金)～11日(土) 職員1名

- ・音響家技能認定講座ビギナーズコース

2月15日(水) 職員2名

- ・第14回砂川人形劇フェスティバル

3月12日(日)職員3名

(2)こどもの劇場・子ども人形劇場職員研修

- ・職員研修

(劇場の理解など) 4月7日(木) 職員5名

(障がい児の理解と支援) 12月6日(火)～7日(水)職員7名

- ・人形劇ゼミナール(人形劇指導研修)

4月27日(水)～7月18日(月) 職員5名

- ・将来構想/広報戦略プロジェクト

通年 職員6名

- ・刈払機取扱作業安全衛生教育

6月7日(火) 職員3名

(3)公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修

- ・職位階層別研修

- ・目標管理制度

- ・個人情報保護研修

- ・評価者研修

・管理業務を適切に行うため、人形劇や児童劇、舞台、照明、音響に係る専門職員をはじめ、管理に係る職員を適正に配置し、組織を確立した運営を行った。

・劇場職員として専門性を高めるため、児童文化関連施設や各種事業・研修会に職員を派遣し、職員一人ひとりが創造者として利用者と関わるべく多様な場で研鑽に努めた。

・職員研修(人形劇ゼミナール)を児童会館部門の職員と共に行ったことで、子どもたちとの創作活動における指導のポイントや劇場の業務理解が深まった。劇場課職員・児童会館部門の職員双方にとって、施設利用者のニーズに応える市民サービスの向上につながったといえる。

・2つのテーマにおける課題の洗い出しと業務改善を行うプロジェクトにより、劇場職員としての意識向上と、人材育成の両面から成果に結びつけることができた。

・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会職員研修計画に基づき、各職員の資質向上を目指した研修を実施した。

(5)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上

- ・職員の勤務時間を適正に管理するため「勤怠管理システム」を導入し、法令遵守に結び付けた。
・職員の健康管理に係る取組みとして、産業医を導入した。
・法令に基づき、時間外労働または休日労働させる場合の労使協定(36協定)を労働者と締結し、労働基準監督署に届出を行った。
・職員の勤務形態、家族状況などに応じて年金保険、医療保険に加入した。また、必要に応じて適正に届出などを行った。
・常勤職員のほか1年以上の有期雇用者に対して、1年に1回定期健康診断を実施したほか、再検査の費用負担を行った。
・正規職員を新たに雇用する際、現在の非正規職員から希望者を募り、内部登用試験を実施した。
・労災保険加入と、条件を満たす労働者を雇用保険に加入した。
・法人として全ての常勤職員を対象にストレスチェックを実施した。
・新型コロナウイルス感染症の対策として、引き続き事務室への飛沫防止アクリル板の設置や定期的な消毒、公演対応での防護用品の使用で感染リスク低減に向けた環境を整備した。

・労働関係法令に関する理解を深めると共に、雇用環境の維持向上に向けた取組を行うことができた。

・新型コロナウイルス感染症対応では、職場環境の整備と、可能な限り出勤時間を調整する取組により、安心して仕事ができるよう努めた。

(6)管理水準の維持向上に向けた取組

- ・財団内のネットワークシステムを活用した情報共有、担当者間や所属職員間で定例の職員会議を実施し、管理水準の向上に努めた。
- ・日常業務のブラッシュアップを行い、業務効率の向上を図った。また、施設点検による安全面の確認を随時行った。
- ・職員によるプロジェクトを組織し、将来の劇場の在り方や広報戦略を検討した。

・財団内の他部門との情報共有や協働実施を行い、より質の高い事業展開に結びつけることができた。

(7)第三者に対する委託の方針

第三者に対する委託業務の実施状況

- ・下記の12業務について、第三者に対する業務委託を行い、当該契約に基づき、必要な指導、指示及び検査を行った。

・施設の良好な維持管理のため、事前に承認を得た業務について専門業者への再委託により行った。

業務名	契約業者名	実施月	契約方法
1 清掃業務	東亜産業(株)	通年	指名競争入札
2 機械警備業務	帝国セキュリティ(株)	通年	指名競争入札
3 自動扉保守点検業務	三和シャッター工業(株)	8・11・3月	随意契約(特命)
4 空調衛生設備保守点検業務	(冷温水機及びGHP) パナソニック産機システムズ(株)	通年	随意契約(特命)
	(空調設備) (有)ケンブラック	5~8月・1月	随意契約(特命)
	(給水設備) 北菱産業埠頭(株)	8・2月	随意契約(少額)
5 オーバースライダードア保守点検業務	三和シャッター工業(株)	8・11・3月	随意契約(特命)
6 消防用設備等保守点検業務	(消防用設備) (株)ヤマ保安	4・10月	随意契約(少額)
	(防火対象物) (株)ヤマ保安	10月	随意契約(少額)
	(自家発電設備) (株)ヤマ保安	12月	随意契約(特命)
7 舞台吊り物及び照明設備保守点検業務	(株)池下電設	7・1月	随意契約(特命)
8 舞台音響設備点検業務	(株)池下電設	7・1月	随意契約(特命)
9 除排雪業務	(有)阿部組	12~3月	随意契約(特命)
10 自家用電気工作物保安管理業務	大崎電気管理事務所	通年	指名見積合せ
11 塵芥収集業務	一般財団法人 札幌市環境事業公社	通年	随意契約(特定)
12 建築基準法12条に基づく点検	(非常照明) (株)ヤマ保安	10月	随意契約(少額)
	(機械換気) 道民防災コンサルタント(株)	11月	随意契約(少額)

(8)札幌市及び関係機関との連絡調整等

開催回	開催日	内容
運営協議会 (第1回)	(書面 開催)	・令和4年度事業報告(上半期) ・セルフモニタリング報告(上半期) ・事業や運営についての意見集約
運営協議会 (第2回)	3月15日	・令和4年度事業報告(下半期) ・セルフモニタリング報告(下半期) ・事業や運営についての意見交換
<p><協議会委員> 札幌市人形劇協議会代表、東区市民劇団オニオン座代表、やまびこ座読み語りの会代表、小樽商科大学特認名誉教授、札幌市子どもの権利推進課長、札幌市こどもの劇場館長、札幌市こども人形劇場館長</p>		
夏まつり実行委員会	(6~8月)	夏まつりを地元町内会などの地域団体と実行委員会を組織し実施してきたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小して実施することとした。
<p><委員会構成> 東栄すずらん町内会、北栄地区青少年育成委員会、札幌東子ども劇場、札幌人形劇協議会、ラポール元町第二管理組合、札幌東更生保護女性会、社会福祉法人さっぽろひかり福祉会</p>		
利用者説明会	12月14日	・施設利用、劇団支援事業について ・劇場ガイドライン改訂について ・公演スケジュール調整 ・各劇団の近況報告
<p><参加者構成> 利用団体・劇団</p>		
札幌劇場連絡会	通年	札幌市内の劇場の発展及び社会的地位の向上を図り、舞台芸術の振興と舞台芸術による地域振興を目的とする団体に参加した。定例会議において情報交換と協働事業を実施した。
<p><連絡会構成> シアターZOO、演劇専用劇場BLOCH、札幌市教育文化会館、コンカリーニョ、ターミナルプラザごとにパトス、cube garden、イベントスペースEDiT、やまびこ座、こぐま座、(札幌市文化振興課、北海道文化振興課、北海道文化財団)</p>		
業務・財務検査	3月9日	・業務検査 ・財務検査

・運営協議会を設置し、委員の方へ事業実施状況などの報告を行い、施設運営についての意見交換を行った。
・11月に予定していた第1回運営協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催に変更した。第2回運営協議会では、今後の事業方針や事業について説明し、今年度の取組について高い評価をいただくことができた。

・毎年、地域団体と協働で実施していた夏まつりについては、新型コロナウイルス感染症の拡大傾向が高まったことから、当初計画より規模を縮小して実施した。

・利用者説明会は、施設からの連絡事項や新型コロナウイルス感染症対策について、各劇団からの近況報告を行った。利用者との相互理解の場とすることができた。

・札幌劇場連絡会の定例会議で市内の他劇場との情報交換を行った。
令和4年度はコロナ禍でも協働事業が実施できたことにより、今後の劇場運営に役立つノウハウを得ることができた。

・札幌市による業務・財務検査を受け、業務改善に努めた。

(9)財務(資金管理、現金の適正管理)

・資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施した。
・金銭等の取り扱いについては、当財団が定める処務規定及び財務規程、金券など取扱要領に基づき、適正に経理事務を行った。
・当財団の内部監査、公認会計士による外部監査を導入し、会計処理などが適切に行われているかを検査した。

・現金の取扱いについて、複数職員による確認を行い、金銭事故防止に努めた。

(10)苦情対応

・「迅速・適切・真摯・平等」で「利用者の立場に立つ」対応を心がけた。
・意見箱を設置するなど、日常的に市民の声を聞くことができる環境を整えた。(意見箱へのご意見・苦情 0件)

・意見箱へご意見や苦情を受けた場合、職員間で内容を共有して原因分析を即座に行い、苦情の低減に努めるよう体制を整えて備えた。苦情対応はなかった。
・直接いただいたご意見については、職員間で内容を共有し、原因分析を即座に行って丁寧な説明を行った。

(11)記録・モニタリング・報告・評価

・業務実施に関する記録、帳簿などの整備、記録保管に努めた。(業務日誌、設備点検記録、事業記録、経理書類、現金出納簿など)
・劇団及び観客、事業参加者に対し、アンケート調査を実施した。常に市民からの声に耳を傾けるよう努めた。

※アンケート調査結果の詳細は「別紙 アンケートのまとめ」参照

・セルフモニタリングにより自己評価を行い、次の事業運営の改善につなげた。
・アンケート調査結果から、総合満足度や接遇に高い評価をいただいたことは成果だと考える。引き続き利用者のニーズを把握し、市民サービスの向上に努める。

3. 施設、設備等の維持に関する管理

(1)維持管理業務

- ・利用者の安全確保を第一に優先し、市民サービスの向上を図った。
- ・維持管理計画の下、日常から点検を行い対応を行った。

① 清掃業務

	区分	実施状況	実施日
1	日常清掃	第三者に対する委託	通 年
2	計画清掃	第三者に対する委託 ワックス塗布、窓ガラス 清掃等を月1回実施し た。	月1回
3	その他	職員対応 公演時は劇団に協力 を得た。	適 宜

② 警備業務

	実施状況	実施日
1	第三者に対する委託業務 施設の機械警備を実施した。	通 年

③ 修繕工事の実施状況

	修 繕 内 容	修 繕 日
1	除雪機修繕	1月26日

⑤ 備品管理

《購入備品》

	物品名（帰属）	数 量	購 入 日	購 入 金 額
1	授乳イス(協会)	1	3月3日	77,000 円
2	オムツ替え台(協会)	1	3月3日	99,000 円
3	サンブラー(協会)	1	3月3日	79,860 円
4	CDレコーダー(協会)	1	3月3日	99,880 円
5	CDレコーダー(協会)	1	3月3日	74,800 円

⑥ 駐車場管理

- ・駐車場内での事故などに十分注意し、利用者以外の進入がないよう、車両の監視、誘導等に努めた。

⑦ 外構緑地管理

- ・敷地内の植木植栽物は、美観の保持、安全面、近隣住民への配慮等の点から、維持管理を適切に行った。

・日常的に施設及び設備について機能全般の良好な維持に努め、市民が利用しやすい施設運営を行った。

・日常的に施設内外の清掃に努めていることから、観覧者からも「施設が清潔で安心して利用できる」とアンケートなどで好評をいただいたことは評価できると考える。

・軽微な修繕については、札幌市の承認を得て実施した。

・市民の利用に支障がないよう、施設内の設備や使用機器類の日常点検や清掃等を行った。

・管理業務及び事業運営にあたり、新規に備品を購入し、利用者の利便の向上に努めた。

・日常的に、施設利用者に対しても利用上の注意や安全確認について留意するよう促した。

・日常的に巡回を行い、定期的に枝払いや刈払い作業を行い、適切な維持管理を実施した。

(2)防災業務

① 防災計画と組織

- ・防災計画を定め、自衛消防組織を設置し、有事対応に備えた。

②防災訓練の実施

- ・10/26(参加6名)、3/17(参加5名)

③状況に応じた情報収集及び事故発生時の対応

- ・関係機関からの情報収集と利用者への正しい情報提供に備えた。
- ・事故防止に備えた日常的な訓練等による危機管理体制を整えた。
- ・賠償保険に加入し不測の事態に備えた。

・防災訓練では、劇場の設備の使用方法や効果的な避難誘導、消火方法、AEDの使用方法を確認し、不測の事態に備えた。

4. 事業の計画及び実施に関する業務

(1)児童文化の普及及び子どもの健全育成のための公演・展示会・講座等の開催に関する業務

- ・令和4年度も新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動再開との両立に苦慮する中で、公演や事業への動員数やイベントの縮小等、引き続き影響を受けながらの事業運営となった。しかし、劇場の運営ガイドラインが11月に改定され収容人数の制限が緩和されたことなどによって、アフターコロナを見据えた活動をさまざまな劇団や関係団体と進めることができた。
- ・令和4年度は令和3年度と比べて人形劇や伝統芸能のワークショップ依頼や関係団体からの作品創造の協力依頼、札幌市近隣や北海道内での公演依頼件数が増加した。
- ・北海道からの依頼で制作した幼児向けアイヌ文化理解促進を図る人形劇を全道各地で巡回公演するという依頼を受けたことにより、札幌での取組を全道各都市でアピールする機会になった。

【公演事業】

- ・令和3年度中止となった「こぐま座開館45周年記念『サイトスペシフィック・パフォーマンス～コロポックル・シンパヤ～』」を6月に実施した。中島公園内の各所に屋外ステージを設置し、さまざまな演目を移動しながら観劇するという事業内容は、参加者にコロナ禍の閉塞感を忘れさせ、純粋に劇と自然と人とのふれあいを楽しむ機会とすることができ、好評を得ることができた。
- ・野外での公演「あおぞらキッズシアター」「ほしぞらキッズシアター」を令和4年度も引き続き実施した。さらに、こぐま座と中島児童会館の共同で「あおぞらキッズシアター拡大版『ピクニックシアター』」を実施した。公演に工作会やワークショップを加え、コロナ禍でも安全に参加・観劇できるスタイル、施設の立地や自然環境等を存分に生かした事業として参加者から好評を得ることができた。

・コロナ禍でも各劇団と協働し、事業を積極的に行った。しかし、札幌市内の感染状況が悪化した時期は、プログラムの一部変更・縮小、人数制限が影響したと言える。

・ガイドライン改定後は、各劇団と協働し、多くの市民に観劇や文化芸術体験の機会を提供することができた。

・公演事業では、劇場で実施する人材育成事業などに参加した子どもたちが、いきいきと舞台表現活動に取り組んだ。子どもたちにさまざまな活躍の場を提供したことで、日々の活動にも意欲的に取り組む様子が見られた。

・12月に公益財団法人北海道演劇財団と協働で「北のおぼけ箱2」制作・公演を行った。舞台美術を児童デイサービスに通う子どもたちと出演者たちと共に制作し、劇中に手話通訳者が通訳をしながら演じる「ムーブアラウンド方式」を取り入れた。また、2月には令和3年度に制作した「北のおぼけ箱1」を再演した。再演にあたり、字幕の追加、ムーブアラウンド方式の手話通訳の導入、美術制作を行った児童デイサービスの子どもの出演など、前回よりさらにユニバーサルな舞台を披露することができた。

【講座事業】

・人材育成事業「初心者のための人形劇講座」は2年ぶりに全て対面式で開講し、2劇団が誕生した。また、財団内の職員研修「人形劇ゼミナール」(人形劇指導者向け講習会)からも新たな劇団が誕生するなど、職員の育成の観点からも大きな成果があったと言える。

・これまで、やまびこ座・こぐま座で開講してきた「経験者のための人形劇講座」の一環として、若年層の人形劇団を対象とした「パペットカレッジ」を実施した。若い世代の劇団の育成、継続的な活動を支援することを目的とし、大学生、社会人になっても自立した劇団活動を行い、良質な作品づくりに取り組める力をつけられるように支援をすることが、劇場の公演活動を担う人材を育てるために必要である。

・人形浄瑠璃講習会、義太夫講習会では、「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」と協働し、札幌における伝統文化の担い手を育成した。

【子どもの舞台表現活動の推進】

・通年事業として伝統文化関連事業(ざ・にんぎょうじょうりゆうリユースクラス)、演劇関連事業(やまびこ座遊劇舎、劇☆やまびこ座YOUTH)を実施した。単発の体験事業としては、こども舞台体験プログラム「ふれアート」を実施し、専門の講師による舞台体験機会を実施した。

・子どもたちの体験機会が減少している現代で、こぐま座、やまびこ座と札幌市内の児童会館が連携し、「児童会館人形劇クラブ活動」を継続して行ってきたことで、少しずつ児童会館での人形劇活動が増えてきている。令和4年度は、国際人形劇連盟(UNIMA)が定める『世界人形劇の日』に合わせ、第1回目となる「札幌市児童会館人形劇フェスティバル」を実施した。札幌市内の児童会館人形劇クラブの子どもたちが一堂に会し、人形劇の連続公演や交流会を実施した。子どもたちのいきいきとした姿や表現の可能性を広く発信する機会とし、これまでの取組から一歩進み、より広がりを持った事業展開をすることができた。

・公益財団法人北海道演劇財団と協働で障がいのある子どもたちと創る「北のおぼけ箱2」制作・公演を行った。児童デイサービスに通う子どもたちとやまびこ座・こぐま座で育成してきた子どもたちと共に制作し、劇中に手話通訳者が通訳をしながら演じる「ムーブアラウンド方式」を取り入れユニバーサルな舞台を披露することができた。やまびこ座・こぐま座が関わってきた子どもたちの成長が顕著に表れた舞台となり、観客に感動を与える事業となった。

・令和4年度は新たに、劇場の近隣小学校の特別支援学級との人形劇創作活動に取り組んだ。今後重点的に取り組む社会課題の解決に向けた取組の一つとして、その足がかりとすることができた。

【地域との共生および関係機関との連携】

・地域連携アウトリーチ事業では、元町北小学校と札幌国際大学から依頼を受け、指導者を派遣した。また、「砂川人形劇指導」では道内他劇場施設での人形劇指導を実施し裾野拡大に取り組んだ。

・地域の町内会や企業、団体と連携し例年実施していた夏まつりは、実施時期に新型コロナウイルス感染拡大傾向が強まったことで、当初予定していた規模を大幅に縮小したが実施できた。地域に愛され地域に根付いた施設として、今後も地域と協働する事業を継続していく。

・劇場の公演活動の充実や劇団支援、地域連携の活性化を目的として協賛金を募る「事業サポーター制度」を実施し、11件の個人協賛と、3件の企業協賛を得ることができた。

・令和3年度受託し制作したアイヌ文化の理解を促進するための人形劇を、令和4年度は北海道内全域での巡回公演として依頼を受け、幼稚園や図書館等、21回の上演を行った。令和3年度からの関わりと実績を踏まえた依頼であり、これまで劇場が行ってきた業績が評価された結果ともいえる。役者には劇場で育成を行ってきた「パペットカレッジ」の大学生を中心とした若いメンバーを起用することで活躍の場を提供し、人形劇に対するより深い興味や意欲の向上を引き出すことができた。活動を通して成長していく若者たちの姿を頼もしく思うと同時に、これからの活発な活動が期待できる。

【社会貢献事業の取組】

・継続して取り組んできた福島県への継続支援活動は、コロナ禍の影響で当初の計画どおりとはいかなかったが、地元の方の要望もあり、期間を短くし現地に足を運び地域交流イベント等を実施することができた。東日本大震災から12年が経ち、支援の形も少しずつ状況に応じて変化を続けてきた。この事業を通しつながりができた様々な協力団体とは、今後また違う形で連携を続け新たな事業展開を模索していける可能性がある。

・新たな人材や劇団の育成に加えて、次世代の指導者育成につながる事業を実施することができた。

・劇場が取り組んできた人形劇の裾野拡大、人材育成の成果を発揮することができた。

・コロナ禍であっても子どもたちの文化体験機会を守りたいと、学校教育の現場から要望が多く寄せられた。

・市民と共につくる劇場、地域に根差した劇場運営の観点から、一定の成果が表れていると捉え、今後もこの取組を継続、強化していく。

・今期の指定管理では公的助成や民間資金の活用による発展的な事業展開、財源確保を提案しており、今回の業務受託は劇場の専門性を生かした形で財源の確保につながった。

・子どもたちが明るい未来を描けることを願い協働してきた様々な関係団体と共に、今後は発展的な事業を実施できるよう取り組みたい。

	<p>【展示室の活用およびその他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み語りの会を実施するなど、市民ボランティアの活躍の拠点として図書コーナー等を活用し、地域の子どもとその保護者に来館いただく契機とすることができた。 ・北海道新聞販売所と協働で、「夏のこどもぬりえ大会」(8月23日～26日、来場90名)「冬休み子どもお絵かき大会」(1月17日～20日、来場139名)の作品展を実施した。この取組をきっかけに次年度以降さらなる事業連携へつなげていきたい。 ・こぐま座と共同で人形劇観劇スタンプラリーを実施した。 カード発行枚数:5,838枚(やまびこ座2,936枚、こぐま座2,902枚) <p>事業実績 別紙業務報告書参照</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の企業と協働で展示室の活用を図ることができた。今後も継続していくことで連携の強化を進めていきたい。
<p>(2)子どもに関わる舞台活動の拡充に関する情報収集・調査研究・立案及び提供に関する業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の情報収集を行い、資料の整理を随時行った。市民からの要望に応じ、情報提供できる体制を作った。 ・北海道庁より「アイヌ文化を題材とした人形劇巡回公演」依頼を受け、人形劇上演を全道21ヶ所で行った。劇場のスキルを生かした関係機関との連携により発展的な事業展開をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の地域に伝わる民話を題材とすることで、子どもたちに郷土の歴史や文化への理解を深めてもらう機会とすることができた。
<p>(3)劇団育成支援に関する業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・劇団支援策として「札幌市こどもの劇場支援事業」を実施した。各劇団のホール・研修室・美術工作室・会議室利用について、使用料の一部を負担した。 ※申請件数221件、利用区分件数758件 ・各劇団が劇場を通して交流する機会の提供 <ol style="list-style-type: none"> ①GWイベント(5月) ②やまびこ座夏まつり(8月)※規模は当初予定より縮小 ③利用者説明会(12月) ④札幌人形劇祭(11月)※こぐま座と協働で実施 ・各劇団による自主的な交流企画事業の実施 <ol style="list-style-type: none"> ①北海道人形劇フェスティバル(9月) 主催:北海道人形劇協会 ②人形劇フェスティバルさっぽろ冬の祭典(2月) 主催:札幌人形劇協議会 ・市民ボランティアの募集育成 読み語りの会(登録者数9人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・劇団の育成のため、今後も継続して支援活動に取り組んでいく。 ・運営協議会、利用者説明会、利用者アンケート等を実施し、劇団側に十分な説明や意見交換を行うことで、施設の利用と協力体制を強化することができた。 ・市民ボランティアとの協働事業は、感染症対策を講じつつ実施した。市民ボランティアと市民の交流と自己実現の場とすることができた。
<p>(4)人形劇などに関する指導、相談業務</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人形劇の制作のための技術的指導ができる職員を配置し、日常的に人形劇について、指導、助言ができる体制作りを努めた。 ・公演時や稽古時等において、適宜アドバイスを行い、劇団側と協働してより良い作品づくりを行った。また、初心者のための人形劇講座を実施し、より多くの市民が子どもの文化に携わり、担い手として育っていけるように環境を整えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者にとって丁寧にかかわることが制作活動の支援となっている。今後も劇団に対し、上演や作品創造に関するアドバイス、サポートをしていくために指導者、舞台スタッフの育成に取り組む。 ・人材育成事業等の広いニーズに臨機応変に対応できるような体制を整えることが課題である。
<p>(5)その他、設置目的達成に資する業務</p>	<p>特別事業の実施</p> <ol style="list-style-type: none"> ①サイトスペシフィック・パフォーマンス「コロポックルシンパヤ」 中島公園内各所に舞台を設置し、アイヌなどの様々な民話や物語を題材にした人形劇をウォークラリー形式で巡回しながら観劇する体験型人形劇ツアーを6月に実施した。 ②札幌国際人形劇フェスティバル(7月・9月) 札幌市(7月)やチエコ(9月)で活動するプロの人形劇団を招聘し、公演を実施した。 ③おそとで人形劇場 「ほしぞらキッズシアター」 7月9日、8月10日 「あおぞらキッズシアター」 6月4日・5日、8月2日・3日・5日 <p>人形劇団派遣交流事業</p> <ol style="list-style-type: none"> ①砂川人形劇フェスティバル派遣 3月11日 <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> ①動画配信 YouTubeやFaceBookなどで事業の様子を動画配信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度はコロナ禍において密を避けながら楽しく観劇できる「野外劇場」の集客効果が絶大であった。新規の観客が劇場に興味を持つ戦略の一つとして、次年度も継続していく。 ・YouTubeやFaceBookなどのSNSなども活用して外部に発信したことで、若い子育て世代の市民にやまびこ座やこぐま座の取組を伝える機会にすることができた。

5. 施設の利用などに関する業務

(1)貸館業務計画

① 受付カウンター業務
 ・施設使用にあたり、札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づいて「札幌市こどもの劇場使用承認申請書」を受理し、申込受付を行った。
 ・育成団体の利用については、劇団育成支援事業として使用料の一部を負担し、劇団の負担を軽減した。
 ・受付時間については、午前8時45分～午後5時15分。
 ・ホール使用は、3か月前の1日から窓口受付、2日以降は仮申込として電話受付も可とした。
 ・美術工作室、研修室、会議室使用は、2ヶ月前の1日から窓口受付、2日以降は仮申込として電話受付も可とした。
 ・利用台帳を作成し、利用調整を随時行った。

・利用申込受付については、条例に基づき、適正に処理を行った。
 ・劇団育成支援事業については、事務フローを作成し、適正に処理を行った。
 ・受付業務のシステム化によって、事務処理の正確さを高めることができた。

② 施設の案内及び説明
 ・公演時の観客対応、劇団の施設使用時、日常の来館時の問い合わせ、電話対応などにおいて、施設、公演など案内及び説明を行った。

・問い合わせに対しては、新型コロナウイルス感染症対策などを含めて丁寧に説明した。

《令和4年度施設見学実績》

6月2日 栄町中学校 5名
 8月2日 北翔支援学校 5名
 6月29日 元町北小3年生 90名
 9月15日 栄町小2年生 65名

③ 備付物件の貸出と管理
 ・公演のリハーサル、準備、本番時において、劇団への備付物件の貸出を行った。また、使用後の確認及び点検を行い常に最良の状態となるよう努めた。

・日常的に物品を点検確認し、利用者の使用に支障が生じないようにした。

④ 利用の促進、利用率向上に関する取組
 ・利用促進を目指し、劇場通信の発行・各種ウェブ媒体・広報媒体による情報発信を行った。(6.(1)広報業務参照)
 ・施設利用実績については下記のとおり。
 ・利用者数及びホールの稼働率について、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした利用制限により、目標の人数・上演回数・ホール稼働率が未達成となった。

・客席数の制限等が11月までであったことにより、利用人数等は目標数値には届かなかった。しかし上演日数については目標であった120日を上回る事ができたことは評価できる。

利用状況実績

	ホール	屋外ステージ	合計
観劇者数	無料	1,530	25
	招待	923	8
	有料	10,502	389
	合計 (a)	12,955	422
出演者などの数(b)	8,361	18	8,379
出演者・観劇者総数(a+b)	21,316	440	21,756
上演回数	194	9	203
上演日数	137	7	144
仕込・リハ・研修日数	131	-	131
上演1回あたりの観客数	67	47	66

・次年度以降の劇場利用については、新規の観劇者はもちろん、劇場利用から足が遠のいてしまった市民や劇団に戻ってきていただけるようなアピールをしていく。多くの市民に安心して来館いただけるよう引き続き工夫していく。

区分	件数(件)	人数	利用率
室利用総数	2,025	34,391	
ホール	649	21,316	75.1 %
会議室	362	2,460	41.9 %
研修室	480	5,705	55.6 %
美術工作室	534	4,910	61.8 %
ロビー・展示室・図書コーナー		5,897	
研修・見学		94	
その他(アウトリーチ・屋外事業など)		2,708	
総利用数		43,090	

利用件数2,025件 (前年度 1,317件・前年比 153.8%)
 利用人数43,090人 (前年度 26,174人・前年比 164.6%)

(2)使用承認などに関する業務

① こどもの劇場の使用申込の受付及び使用の承認、不承認
 ・施設使用承認に当たっては、札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、提出された「札幌市こどもの劇場使用承認申請書」を精査し承認した。承認の際には、「札幌市こどもの劇場使用承認書」を発行した。
 ・使用の不承認該当事例なし。

・施設使用承認などについては、条例に基づき、適正に処理を行った。

② 施設使用に当たって、特別の設備を設け、又は特殊な物件を搬入しようとするときの当該行為の承認、不承認とする。

・該当事例なし。

③ 使用承認などの条件の変更、施設の使用の停止命令又は使用承認などの取り消し

・該当事例なし。

	<p>④ 利用料金の徴収事務 ・札幌市こども劇場条例及び札幌市こども劇場条例施行規則に基づき、劇場使用料の徴収事務を行った。 ※使用料については、別紙(貸室使用料金表)のとおり。 ※令和4年度利用料金収入総額…6,592,152円(前年比155.4%)</p> <p>⑤ 利用料金の減額若しくは免除又は還付に関する事務 ・該当事例なし。</p> <p>⑥ 入場の制限その他施設の秩序維持に関する事務 ・該当事例なし。</p>	
6. 管理業務に付随する業務		
(1)広報業務	<p>・独自ドメインを取得し、よりわかりやすいホームページURL (https://koguyama.jp)に変更した。ウェブアクセシビリティを考慮し、誰もが利用しやすいホームページを目指した。ページビュー数は244,022件で、前年度比(237,314件)103%という結果になった。</p> <p>・公式SNS(Twitter、Facebook、Instagram)や無料通信アプリLINEによる公演情報の発信を積極的に行い利用者の利便性向上と集客につなげることができた。</p> <p>・定期的に(年6回)こどもの劇場通信(公演情報、事業案内等)、MA・SO・BO通信(子ども文化の発信)をやまびこ座と共同で発行し、市内公共施設、関係機関、児童会館等、及びやまびこ座近隣小学校5校へ配布した。また、公演ごとに来館者へ配布した。</p> <p>・公演情報を各報道機関等に提供する等、宣伝活動に努めた。また、チラシ・ポスターを作成し、市民への配布のほか、地下鉄駅や劇場館内への掲示を行い周知を図った。</p> <p>・公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会発行のさっぽろ・こども情報誌「あそぼ」(市内全小学生配布)に、公演情報を毎号掲載した(年6回各10万部発行)。</p>	<p>・広報業務は、劇場の認知度向上と観客数に直結する重要なものであるとの認識のもと、常に情報発信を行っている。令和4年度はSNS等での事前の情報発信を適宜行い、公演等の集客につなげる流れを確立することができた。</p> <p>・ウェブ予約が浸透したことで予約状況を事前に把握でき、効率的に広報等の対応を進めることができた。予約受付時や劇場通信等の広報物にキャンセル時の連絡を継続してお願いしたことで、前年度に比べて当日キャンセルの件数が減少した。今後も利用マナー向上のため、必要な呼びかけ等を行っていく。</p>
(2)施設ホームページのウェブアクセシビリティの確保	<p>・札幌市公式ホームページウェブアクセシビリティの方針に準じて、アクセシビリティの維持・向上に努め、ホームページの更新を行った。</p>	<p>・ウェブアクセシビリティを考慮し、誰もが利用しやすいホームページを作成した。</p>
(3)引継ぎ業務	<p>・前回から継続指定のため、該当事例なし。</p>	
7. 札幌市内の企業などの活用について		
(1)市内企業などの活用、福祉施策への配慮など	<p>・第三者に対する業務委託、物品の調達などを行うにあたり、札幌市内の企業などを積極的に活用した。</p>	
8. その他		
(1)自主事業の実施	<p>・物品販売事業 市民サービスの一環として、ハンドパペットやオリジナルグッズなどの販売を各人形劇公演時に実施。集客の一助やリピーターの確保などにつなげ、公演の活性化を図った。 実施期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日 販売商品: ①ハンドパペット: 金額 500円～700円 ②オリジナルグッズ: 金額 50円～1,785円 【販売実績】 ①ハンドパペット: 販売個数 65個 47,200円 ②オリジナルグッズ: 販売個数 1,166個 売上額 225,250円 合計: 販売個数 1,231個 売上額 272,450円</p> <p>・飲料販売事業 劇場に公演観劇に来られる来館者や、稽古や舞台仕込みで利用される劇団利用者などに対して飲料の清涼飲料水の販売を行い、市民サービスの向上を図った。 実施期間: 令和4年4月1日～令和5年3月31日 販売商品: 清涼飲料水110円～180円 【販売実績】 販売本数: 清涼飲料水 2,697本 収入額: 36,933円(使用料、電気代相当額)</p>	<p>・物品販売業務では、前年度の売上額を上回ることができた。引き続き市民の声からニーズを察知し、商品開発を進めていく。</p> <p>・飲料販売事業の売上本数は、夏の公演での飲料水需要が高かったこと、来館者数が回復するのに比例して売上本数が上がったことから、前年度を上回ることができた。</p>
(2)改修工事・大規模修繕について	<p>・実施なし。</p>	
(3)映画などの撮影の申し出を受けた場合の対応	<p>・該当事例なし。</p>	

2 アンケートのまとめ

1. 実施目的	施設利用者に対してアンケートを実施し、利用者の満足度や市民からの要望、意見を集約していくことで、業務を振り返り、業務の改善に反映させるよう努める。																																																																																																																																																																																												
2. 実施内容及び実施方法	<p>観客用アンケート、利用者(劇団)アンケート、事業別参加者アンケートをそれぞれ作成し、実施。</p> <p>① 観客用アンケート 各公演時において、来館した観客に対しアンケートを配布した。公演の周知方法、これまでの来館数などの回答者についての設問や劇場の設備について、職員の対応などの設問、また具体的なお芝居の感想に対し、回答していただいた。記名方式(無記入可)。</p> <p>② 利用者(劇団)アンケート 劇場を利用する劇団に対し、アンケートを実施した。普段、劇団の活動で劇場を利用するに当たり、劇場の使いやすさや職員の対応といったソフト面とハード面の両面について回答していただいた。実際にお芝居を創っていく上での環境、職員の支援体制、劇場の設備について、職員の対応などに対する質問を設定した。記名方式(劇団名、氏名 無記入可)。</p> <p>③ 事業参加者アンケート 事業参加者(受講者)に対し、各事業の終了後にアンケートを実施した。事業プログラム内容や講師、担当職員の対応、施設の使いやすさなどについて回答していただいた。記名方式(無記入可)。</p>																																																																																																																																																																																												
3. アンケート結果	<table border="1" data-bbox="355 645 1517 1061"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">観客用アンケート</th> <th rowspan="2">利用者(劇団)アンケート</th> <th colspan="5">事業参加者アンケート</th> </tr> <tr> <th>初心者講座</th> <th>児童演劇講習会</th> <th>人形浄瑠璃講習会</th> <th>義太夫講習会(一般)</th> <th>遊劇舎</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 実施期間</td> <td></td> <td>4/1 ~3/31</td> <td>4/1 ~3/31</td> <td>4/21~ 7/16</td> <td>7/5~ 2/23</td> <td>5/17~ 12/3</td> <td>5/18~ 12/4</td> <td>5/27~ 1/15</td> </tr> <tr> <td>② アンケート回収枚数(枚)</td> <td></td> <td>2,129</td> <td>22</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>③ 職員の対応、説明(点)</td> <td></td> <td>4.6</td> <td>4.5</td> <td>5.0</td> <td>4.6</td> <td>5.0</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>④ 劇場の設備(点)</td> <td></td> <td>4.5</td> <td>4.6</td> <td>4.8</td> <td>4.7</td> <td>4.9</td> <td>4.7</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>⑤ 観劇のマナー(点)</td> <td></td> <td>4.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ 施設の環境整備(点)</td> <td></td> <td></td> <td>4.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦ 劇場のサポート(点)</td> <td></td> <td></td> <td>4.7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 利用申込、手続きの仕方(点)</td> <td></td> <td></td> <td>4.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨ 事業プログラム内容(点)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> <td>5.0</td> <td>4.9</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>⑩ 講師について(点)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>4.8</td> <td>5.0</td> <td>4.8</td> <td>4.9</td> <td>5.0</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="355 1093 1206 1536"> <thead> <tr> <th colspan="7">事業参加者アンケート</th> </tr> <tr> <th></th> <th>劇★やまびこ座YOUTH</th> <th>ざ・にんぎょう じょうりゆう スクラス</th> <th>ふれアート (人形浄瑠璃 体験)</th> <th>ふれアート (義太夫体験)</th> <th>ふれアート (裏方体験& ミニ発表)</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>8/6~ 2/23</td> <td>5/17~ 12/3</td> <td>5/21~ 5/22</td> <td>7/17</td> <td>10/15~ 10/16</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>11</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>17</td> <td>28</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>4.9</td> <td>5.0</td> <td>記入なし</td> <td>4.4</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>4.9</td> <td>4.9</td> <td>記入なし</td> <td>4.7</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>5.0</td> <td>4.9</td> <td>4.8</td> <td>4.3</td> <td>4.9</td> <td>4.8</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>4.9</td> <td>5.0</td> <td>4.8</td> <td>4.4</td> <td>4.8</td> <td>4.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※③~⑩については、5点満点の平均値(とても良い:5点~悪い:1点) ※アンケート詳細結果については、別紙アンケート集計用紙参照</p>			観客用アンケート	利用者(劇団)アンケート	事業参加者アンケート					初心者講座	児童演劇講習会	人形浄瑠璃講習会	義太夫講習会(一般)	遊劇舎	① 実施期間		4/1 ~3/31	4/1 ~3/31	4/21~ 7/16	7/5~ 2/23	5/17~ 12/3	5/18~ 12/4	5/27~ 1/15	② アンケート回収枚数(枚)		2,129	22	6	7	12	9	12	③ 職員の対応、説明(点)		4.6	4.5	5.0	4.6	5.0	4.8	4.8	④ 劇場の設備(点)		4.5	4.6	4.8	4.7	4.9	4.7	4.8	⑤ 観劇のマナー(点)		4.5							⑥ 施設の環境整備(点)			4.5						⑦ 劇場のサポート(点)			4.7						⑧ 利用申込、手続きの仕方(点)			4.1						⑨ 事業プログラム内容(点)				4.6	4.6	5.0	4.9	4.8	⑩ 講師について(点)				4.8	5.0	4.8	4.9	5.0	事業参加者アンケート								劇★やまびこ座YOUTH	ざ・にんぎょう じょうりゆう スクラス	ふれアート (人形浄瑠璃 体験)	ふれアート (義太夫体験)	ふれアート (裏方体験& ミニ発表)	計	①	8/6~ 2/23	5/17~ 12/3	5/21~ 5/22	7/17	10/15~ 10/16		②	11	13	19	17	28	134	③	4.9	5.0	記入なし	4.4	4.8	4.8	④	4.9	4.9	記入なし	4.7	4.8	4.8	⑤							⑥							⑦							⑧							⑨	5.0	4.9	4.8	4.3	4.9	4.8	⑩	4.9	5.0	4.8	4.4	4.8	4.8
						観客用アンケート	利用者(劇団)アンケート	事業参加者アンケート																																																																																																																																																																																					
		初心者講座	児童演劇講習会	人形浄瑠璃講習会	義太夫講習会(一般)			遊劇舎																																																																																																																																																																																					
① 実施期間		4/1 ~3/31	4/1 ~3/31	4/21~ 7/16	7/5~ 2/23	5/17~ 12/3	5/18~ 12/4	5/27~ 1/15																																																																																																																																																																																					
② アンケート回収枚数(枚)		2,129	22	6	7	12	9	12																																																																																																																																																																																					
③ 職員の対応、説明(点)		4.6	4.5	5.0	4.6	5.0	4.8	4.8																																																																																																																																																																																					
④ 劇場の設備(点)		4.5	4.6	4.8	4.7	4.9	4.7	4.8																																																																																																																																																																																					
⑤ 観劇のマナー(点)		4.5																																																																																																																																																																																											
⑥ 施設の環境整備(点)			4.5																																																																																																																																																																																										
⑦ 劇場のサポート(点)			4.7																																																																																																																																																																																										
⑧ 利用申込、手続きの仕方(点)			4.1																																																																																																																																																																																										
⑨ 事業プログラム内容(点)				4.6	4.6	5.0	4.9	4.8																																																																																																																																																																																					
⑩ 講師について(点)				4.8	5.0	4.8	4.9	5.0																																																																																																																																																																																					
事業参加者アンケート																																																																																																																																																																																													
	劇★やまびこ座YOUTH	ざ・にんぎょう じょうりゆう スクラス	ふれアート (人形浄瑠璃 体験)	ふれアート (義太夫体験)	ふれアート (裏方体験& ミニ発表)	計																																																																																																																																																																																							
①	8/6~ 2/23	5/17~ 12/3	5/21~ 5/22	7/17	10/15~ 10/16																																																																																																																																																																																								
②	11	13	19	17	28	134																																																																																																																																																																																							
③	4.9	5.0	記入なし	4.4	4.8	4.8																																																																																																																																																																																							
④	4.9	4.9	記入なし	4.7	4.8	4.8																																																																																																																																																																																							
⑤																																																																																																																																																																																													
⑥																																																																																																																																																																																													
⑦																																																																																																																																																																																													
⑧																																																																																																																																																																																													
⑨	5.0	4.9	4.8	4.3	4.9	4.8																																																																																																																																																																																							
⑩	4.9	5.0	4.8	4.4	4.8	4.8																																																																																																																																																																																							
4. 評価及び考察	<p>【観客用アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 回収枚数は2,129枚で目標(1,200枚)を達成することができた。 回答者の年代は、子育て世代の20~40代の回答が前年度より上がり19.5%となった。41~60代の回答が最も多く24.1%となり、三世代に渡り劇場を利用していることがわかった。 公演情報の取得方法では、「友人・知人」が最も多く(26.2%)、次いで「劇場ホームページ」(22.4%)、「ポスター・チラシ」と「劇場通信」(15%)となった。ウェブ予約が定着したことで劇場ホームページを確認する機会が増えたこと、公演の際に配布する「劇場通信」や「チラシ」、地下鉄掲示板の「ポスター」で気になったものを観てみようという機運が高まったことが考えられる。 観劇環境については、どの項目も4.5以上という高い評価を得ることができた。 <p>【利用者(劇団)アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> 回収22枚(目標20枚)で前年度の回収数(9枚)及び目標を上回った。次年度も劇団の公演時にアンケートへの協力を呼びかけていく。 支援体制(施設の環境、サポート体制)及び、施設サービス(利用のしやすさ、職員の対応)の項目については引き続き高い評価を得ることができた。施設の利用申込方法や手続きの仕方についても前年度の評価(3.7)を上回ることができた。 																																																																																																																																																																																												

	<p>【事業参加者アンケート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業より、実施した講座など10事業についてアンケートを実施した。 ・事業内容及び職員の対応や講師について、全ての参加者から高評価をいただき、満足度も高かった。
5. 全体を通して	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に総合満足度や職員の接遇に関して、高い評価をいただき目標を達成した。 ・劇場における清掃や新型コロナウイルス感染症対策について、清潔な施設で安心して利用できたという声を多くいただくことができた。今後も市民のニーズを把握し、観劇する環境をソフト・ハード両面で改善を図っていく。 ・情報を得る手段としてSNSの割合を高め、メインターゲットである子育て世代の市民に情報が届くよう引き続き様々な方法を検証していく。SNSの割合を従来のホームページや紙媒体の割合にまで近づけていくことで、観劇や利用を検討する市民が増えるものとする。

3 令和4年度管理業務総括

1. 総合評価	<p>令和4年度で3年が経過した新型コロナウイルス感染症の対応も、その終息に向けては期中で一進一退の状況もあったが、感染拡大防止と社会活動再開との両にらみで様々な対策を講じ、懸案であった劇場ガイドライン改訂に伴うホールの客席制限の緩和など、文化芸術活動も少しずつ日常に戻りつつある。しかし、公演の動員人数や事業規模の縮小などについては引き続き影響を受ける結果となった。</p> <p>今年度の特徴的な公演事業として、9月に実施した札幌国際人形劇フェスティバル海外特別公演「怪傑ゾロ」では、3年振りに海外からチェコの専門人形劇団の招へい公演を実施した。中々触れる機会が少ない海外の人形劇の観劇機会を市民に提供することができた。同時開催で人形劇操演ワークショップも開催し、劇場で活動する市民劇団の方が参加し普段と違う人形操作を学ぶ国際交流の場となった。</p> <p>また、全国の伝統人形芝居一座が競演する「座・競演」を実施し、伝統芸能に触れる機会を提供し、その魅力を伝え古典芸能に親しんでもらう機会とした。今後も、札幌発信の新たな伝統文化の形を発信していく。</p> <p>昨年度に引き続き演劇分野の団体や専門アーティストと協働で、障がいのある子どもたちと創る「北のおぼけ箱2」の創作を行った。また、新たに文化庁の「障害者等による文化芸術活動推進事業」を受託し、近隣小学校の特別支援学級と人形劇創作活動に取り組んだ。今後重点的に取り組む社会課題の解決に向けた取組の一つとして、「文化芸術の持つ社会的包摂機能の推進」を進める足がかりとなったと言える。</p> <p>人材育成事業も、様々な市民を対象にした講座事業を中心に継続して実施をしてきた。その中で、児童会館7館と協働で実施している人形劇クラブが活発に活動を重ね、今年度、世界人形劇の日(3月21日)に「札幌市児童会館人形劇フェスティバル」を新規で実施した。これまで継続して取り組んできた子どもたちの人材育成が実りつつあり、国内のみならず世界に札幌の子どもたちの特徴的な活動を発信した成果は大きい。</p> <p>北海道庁から「アイヌ文化を題材とした人形劇巡回公演」の依頼を受け、昨年度制作した人形劇を道内の幼稚園等で21回の公演を実施し、文化芸術普及活動につなげた。コロナ禍で子どもたちの文化芸術に触れる機会が失われている中、今後も外部の団体や協力者と連携することで、改めて「札幌の子ども文化の取組」を広く発信していく。</p> <p>①数値実績 目標である年間公演回数200回を超えて203回(前年度比138.1%)となった。コロナ禍でも公演活動を継続できるよう、外部団体等とも連携して劇団支援を行ってきた成果といえる。また、観劇者数も13,377人(前年度比163.5%)となり、コロナ禍の落ち込みからは回復傾向にあるといえる。 今後は新型コロナウイルス感染症の影響で劇場利用から離れてしまった観客に、いかに戻ってきていただくかを劇団の皆さんと共に知恵を絞っていきたい。</p> <p>②収支状況 令和4年度は当初想定していたより新型コロナウイルス感染症の影響を受け、客席の人数制限や利用制約に伴う内容及び回数変更により助成金が減額されたが、新規の受託事業を請けたことによる増収もあった。しかしながら、人件費の増加、光熱水費の上昇や原材料費高騰に伴う物価上昇によって当初予算より費用がかさみ、結果としてマイナス計上となった。</p>
2. 基本方針及び来年度以降の重点取組事項	<p>基本方針 『豊かな子ども文化に彩られた未来創造のまち・さっぽろ』</p> <p>やまびこ座、こぐま座が担うべき役割は、社会的情勢や行動変容に伴い変化し続けている。これまでの、多くの子どもたちが人形劇や児童劇等の生の芸術文化に触れる機会の提供を中心とした「鑑賞型事業」から、近年の生活様式の変容や人口減少に伴う子どもの数の減少によって「体験型事業」にシフトしてきた。そして、これからはSDGs(持続可能な開発目標)が示す“誰一人取り残さない”世界を目指すための共生社会の構築、多様な価値観を許容できる社会づくりに文化芸術が貢献していかなければならないと考える。子どもから大人まで様々な人間同士がお互いを理解し合い、共に創造的な活動を行うことで心豊かな活力ある社会形成につなげていく。</p> <p>これまでのやまびこ座、こぐま座が持つ創造性や、「人を育てることが文化を育てる」という考えに基づく人材育成事業を柱に、関係団体と共に公演事業、創造型事業を推し進める。また、子どもから大人まで、様々な世代への育成事業を積極的に展開することで、人形劇、児童劇等の裾野を拡げ、さらに若い世代が指導者として次の世代への育成を担う流れをつくることで、持続可能な劇場づくりを目指す。</p> <p>コロナ禍で子どもたちの体験機会が減少した昨今、劇場が取り組んできた子どもたちの文化体験機会を守る活動等が注目され、北海道内外の行政機関や公共施設、学校教育現場、地域町内会等からの相談や依頼が増えている。これまでの経験や技術、様々な文化団体・関係機関とのつながりや連携をより強固なものとし、劇場の文化芸術にかかわるスキルを生かし、札幌市内から札幌市近郊の札幌圏、全道規模へ発信を広げ強化していく。</p> <p>こぐま座・やまびこ座・中島児童会館が、子どものための専門施設として連携を強化し、それぞれの施設が持つ特性を生かしながら、人材育成事業や、全市的なイベント等を実施し、文化発信拠点として特色ある運営を目指す。</p> <p>令和5年度はやまびこ座が開館35周年を迎える。記念事業として節目のイベントも織り交ぜ、良質な舞台芸術の創造発信、継続的な文化体験機会の創出を図り、未来ある子どもたちの夢と可能性を拡げ、子ども文化の必要性を社会に伝える。</p>

様式1 令和4年度 札幌市こどもの劇場「やまびこ座」収支決算書(総括表)

単位:千円

1 収益

項目	予算額	決算額	摘要
指定管理費	46,053	47,510	光熱水費高騰に伴う指定管理費見直し分を含む
施設利用料金	5,000	6,593	
こども劇場事業収益(指定管理業務)	19,377	25,143	
物品販売収益(自主事業)	200	272	
飲料販売収益(自主事業)	60	37	
収益計(A)	70,690	79,555	

2 費用

大項目	中項目	小項目	予算額	決算額	摘要
指定管理業務	管理費	人件費	0	0	
		物件費	1,799	1,903	法人事業費
		小計	1,799	1,903	
	事業費	人件費	25,135	26,675	給料手当、福利厚生費等
		物件費	43,365	51,908	印刷製本費、諸謝金、委託費、支援事業費等
		小計	68,500	78,583	
指定管理業務計		70,299	80,486		
自主事業	管理費	人件費	0	0	
		物件費	0	0	
		小計	0	0	
	事業費	人件費	0	0	
		物件費	182	49	
		小計	182	49	
自主事業計		182	49		
受託事業	管理費	人件費	0	0	
		物件費	0	0	
		小計	0	0	
	事業費	人件費	0	0	
		物件費	0	0	
		小計	0	0	
受託事業計		0	0		
費用計(B)			70,481	80,535	

3 収支

項目	予算額	決算額	摘要
当期利益(A-B)	209	-980	
自主事業による利益還元(C)	78	0	
法人税等(法人税、住民税及び事業税)(D)	0	0	
当期純利益(A-B-C-D)	131	-980	

注)

- 1 施設において自主事業として実施した、札幌市その他の機関や団体からの受託事業がある場合には、当該受託事業をその他の自主事業と区分して記載してください。(様式2以下についても同様です。)
- 2 収入の表は、様式2に基づき作成してください。なお、行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 3 支出の表は、様式3に基づき作成してください。
- 4 収支の表の法人税等欄の額が確定していない場合は、予想される税金の額を記載してください。

様式2 令和4年度 札幌市こどもの劇場「やまびこ座」収支決算書(収益)

1.施設利用料金

単位:千円

区分	単位	利用料金 (単価)	利用回数	決算額	備考
ホール	午前	13,000	3	39	
	午後	19,000	17	323	
	夜間	20,700	22	440	
	全日	50,500	56	2,828	
	計			3,630	
会議室	午前	1,100	45	49	
	午後	1,600	57	91	
	夜間	1,800	32	58	
	全日	4,300	22	95	
	計			293	
研修室	午前	2,200	51	112	
	午後	3,200	58	186	
	夜間	3,500	68	238	
	全日	8,600	26	223	
	計			759	
美術 工作室	午前	2,500	39	98	
	午後	3,700	48	178	
	夜間	4,000	18	72	
	全日	9,700	49	475	
	計			823	
公演時使 用料収入	人形劇		98	347	
	児童劇		42	374	
	その他		1	367	
	計			1,088	
総計				6,593	

- 注) 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 2 税込で記載してください。

2.指定管理業務の事業収益、自主事業収益、受託事業収益

単位:千円

項目	事業名	決算額	摘要
指定管理業務	企画事業収益	10,705	アイヌ文化理解促進人形劇巡回公演事業、砂川人形劇指導料 等
	参加料・受講料収益	525	事業参加料及び受講料(浄瑠璃講習会、児童劇団講習会 ほか)
	入場料収益	1,563	主催公演(国際人形劇フェスティバル、プロデュース児童劇 ほか)、各種講座発表公演
	雑収益	86	コピー、印刷代 等
	受取助成金	12,264	さっぽろアートステージ、文化庁
	指定管理業務事業収益計	25,143	
自主事業	物品販売収益	272	物品販売事業
	飲料販売収益	37	飲料販売事業
	自主事業収益計	309	
受託事業			
	受託事業収益計	0	
事業収益計		25,452	

- 注) 1 項目毎に、事業単位で記載してください。
 2 行が足りない場合は、適宜追加してください。
 3 税込で記載してください。
 4 自主事業において札幌市その他の機関や団体からの補助金の交付を受けた場合には、摘要欄に補助金の交付元名、補助事業名、補助率等を簡潔に記載してください。
 5 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載し、摘要欄には委託元名を記載してください。

様式3 令和4年度 札幌市こどもの劇場「やまびこ座」収支決算書(費用)

単位:千円

項目	科目	指定管理業務		自主事業		受託事業	
		管理費	事業費	管理費	事業費	管理費	事業費
人件費	給料手当	0	21,821	0	0	0	0
	臨時雇賃金	0	667	0	0	0	0
	福利厚生費	0	363	0	0	0	0
	法定福利費	0	3,824	0	0	0	0
	人件費計	0	26,675	0	0	0	0
物件費	旅費・交通費	0	4,797	0	0	0	0
	通信運搬費	0	453	0	0	0	0
	減価償却費	0	186	0	0	0	0
	消耗品費	0	1,494	0	12	0	0
	修繕費	0	161	0	0	0	0
	印刷製本費	0	1,056	0	0	0	0
	燃料費	0	125	0	0	0	0
	光熱水費	0	7,656	0	20	0	0
	賃借料	0	2,300	0	17	0	0
	保険料	0	95	0	0	0	0
	諸謝金	0	12,065	0	0	0	0
	租税公課	0	4,761	0	0	0	0
	支払負担金	0	76	0	0	0	0
	支払寄付金	0	489	0	0	0	0
	委託費	0	8,680	0	0	0	0
	交際費	0	0	0	0	0	0
	役務費	0	3,923	0	0	0	0
	支払手数料	0	9	0	0	0	0
	備品費	0	365	0	0	0	0
	広告宣伝費	0	0	0	0	0	0
	会議費	0	15	0	0	0	0
	支援事業費	0	3,202	0	0	0	0
	雑損失	0	0	0	0	0	0
	雑費	0	0	0	0	0	0
法人事業費	1,903	0	0	0	0	0	
物件費計	1,903	51,908	0	49	0	0	
支出計		1,903	78,583	0	49	0	0

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 管理費、事業費を区分する際の考え方は次のとおりとします。
 - ・管理費:施設における事業を管理するために経常的に要する費用。管理部門の費用など。
 - ・事業費:施設における事業の目的のために直接要する費用で管理費以外のもの。
- 4 受託事業欄は、様式1(注1)の事業について記載してください。
- 5 自主事業、受託事業において事業数が複数の場合、各事業の合計額を記載してください。

様式5 令和4年度 札幌市こどもの劇場「やまびこ座」収支決算書(費用)の内訳(物件費)

1 指定管理業務

単位:千円

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	0	4,797	外勤旅費、出張旅費、事業旅費(福島支援、アイヌ文化理解促進人形劇巡回公演事業、砂川人形劇指導 等)
通信運搬費	0	453	NTT、劇場通信発送 等
減価償却費	0	186	固定資産減価償却
消耗品費	0	1,494	事務用品、管理用品、舞台消耗品、事業材料費 等
修繕費	0	161	館内修繕
印刷製本費	0	1,056	事業用印刷(劇場通信、事業チラシ・ポスター 等)
燃料費	0	125	公用車燃料
光熱水費	0	7,656	上下水道、電気、ガス
賃借料	0	2,300	コピー機、タクシー、事業宿泊費、レンタカー借上 等
保険料	0	95	施設賠償保険 等
諸謝金	0	12,065	事業講師謝礼(主催公演事業、育成事業講師謝礼 等)
租税公課	0	4,761	消費税、収入印紙
支払負担金	0	76	劇場連絡会会費、研修参加費 等
支払寄付金	0	489	授乳コーナー
委託費	0	8,680	再委託業務(清掃、警備、消防設備、舞台保守 等)
役務費	0	3,923	塵芥処理、受付システムライセンス料 等
支払手数料	0	9	振込手数料
備品費	0	365	館内備品
広告宣伝費	0	0	
会議費	0	15	主催事業(札幌人形劇祭)審査員昼食代 等
支援事業費	0	3,202	
雑損失	0	0	
雑費	0	0	
法人事業費	1,903	0	
計	1,903	51,908	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。

2 自主事業

単位:千円

科目	決算額		摘要
	管理費	事業費	
旅費・交通費	0	0	
通信運搬費	0	0	
減価償却費	0	0	
消耗品費	0	12	販売品(パペット)
修繕費	0	0	
印刷製本費	0	0	
燃料費	0	0	
光熱水費	0	20	自動販売機電気料金
賃借料	0	17	行政財産使用料
保険料	0	0	
諸謝金	0	0	
租税公課	0	0	
支払負担金	0	0	
支払寄付金	0	0	
委託費	0	0	
役務費	0	0	
支払手数料	0	0	
備品費	0	0	
広告宣伝費	0	0	
会議費	0	0	
支援事業費	0	0	
雑費	0	0	
法人事業費	0	0	
計	0	49	

注)

- 1 行が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 税込で記載してください。
- 3 摘要欄には各科目の支出の概略を記載してください。